

2015 年度 九州・山口地区の新入社員意識調査アンケート結果 ～ 強まるワーク・ライフ・バランス ～

西日本シティ銀行グループは各種の調査を継続して実施しております。

今般、連結子会社である NCB リサーチ&コンサルティングが、毎年 4 月を中心に行っている新入社員を対象とした公開セミナー及び企業内研修に参加いただいた、九州・山口地区の新入社員を対象とした意識調査アンケートの結果がまとまりましたので、概要をお知らせいたします。

【 アンケート結果概要 】

今回のアンケート結果によれば、多くの新入社員が「上司・先輩・同僚との人間関係」に不安を感じています。会社に求めるものは、「人間関係の良さ」が最も多く、「十分な休日や余暇の時間」が 3 年連続して増加しています。給料と残業に対する考え方では「給料は少なくても、残業がない方がよい」も 3 年連続で増加していることから、ワーク・ライフ・バランスを重視する傾向が強まっているようです。

1. 就職先が「希望どおり」と「ほぼ希望どおり」の合計は 93.9%、「希望どおりでない」は 6.1% という結果でした。
2. 就職先を決める時に重視したことは、「仕事にやりがいがある」が 40.5%で最も多く、次いで「業種・事業内容」の 38.2%、「会社の雰囲気・イメージ」の 37.7%という結果でした。
3. 働く目的は、「生活の安定」が 70.1%で最も多く、次いで「自己成長」の 57.6%、「やりがい」の 45.3%という結果でした。
4. 給料と残業に対する考え方は、「給料は少なくても、残業がない方がよい」が 50.7%と、初めて 50%を超え、「残業は多くても、給料が多い方がよい」が 49.3%という結果でした。

詳細は添付の資料をご参照下さい。

【本件に関するお問い合わせ先】

㈱NCB リサーチ&コンサルティング 調査部 担当：原
〒812-0027 福岡市博多区下川端町 2 番 1 号 博多座・西銀ビル 13 階
電話：092-282-2662

調査概要

1. 調査の目的

- 職業等に関する新入社員の意識状況を調査し、傾向を把握すること

2. 調査期間

- 平成 27 年 3 月 27 日～4 月 16 日

3. 調査対象

- 平成 27 年春の新入社員で、当社の新入社員公開セミナー及び企業内研修の参加者

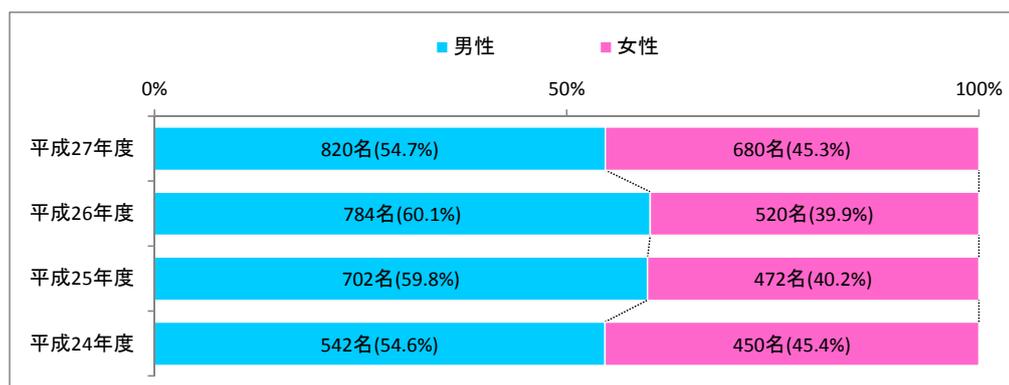
対象：1,528 名（310 社） 回収：1,500 名 回収率：98.2%

研修開催地

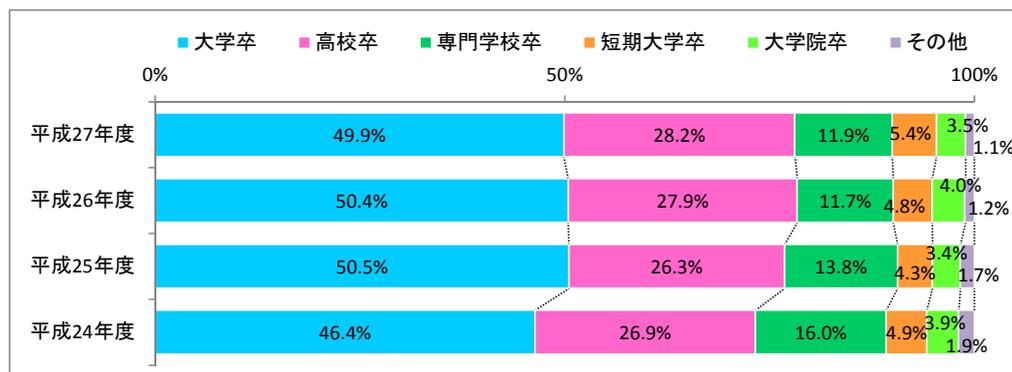
公開セミナー（24 コース）：福岡市、北九州市（小倉、黒崎）、久留米市、飯塚市、長崎市、熊本市、宮崎市、大分市

企業内研修（7 コース）：福岡市、甘木市、筑前町、鹿島市、下関市

性別



最終学歴



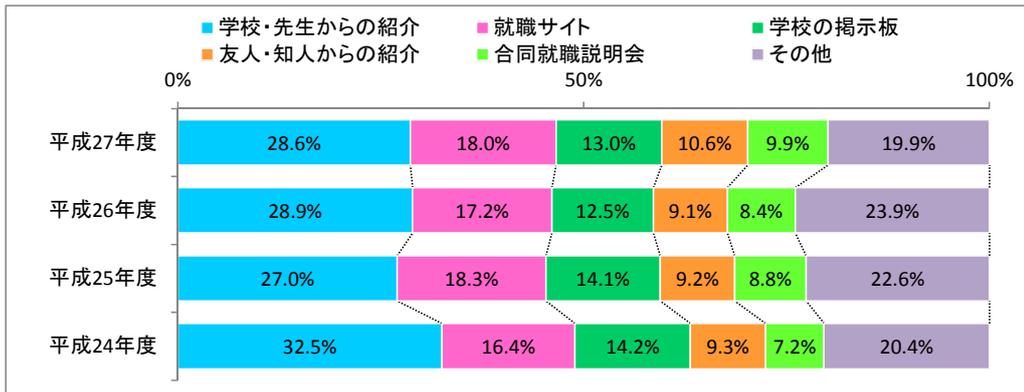
4. 調査方法

- アンケート用紙の配布・回収（新入社員公開セミナー・企業内研修実施時）

【アンケート結果】

1. 就職先を知った最初のきっかけ（1つ選択）

全体では「学校・先生からの紹介」が28.6%で最も多く、次いで「就職サイト」の18.0%、「学校の掲示板」の13.0%という結果であった。昨年との比較では、「就職サイト」、「学校の掲示板」、「友人・知人からの紹介」、「合同就職説明会」は増加したが、「学校・先生からの紹介」が減少した。

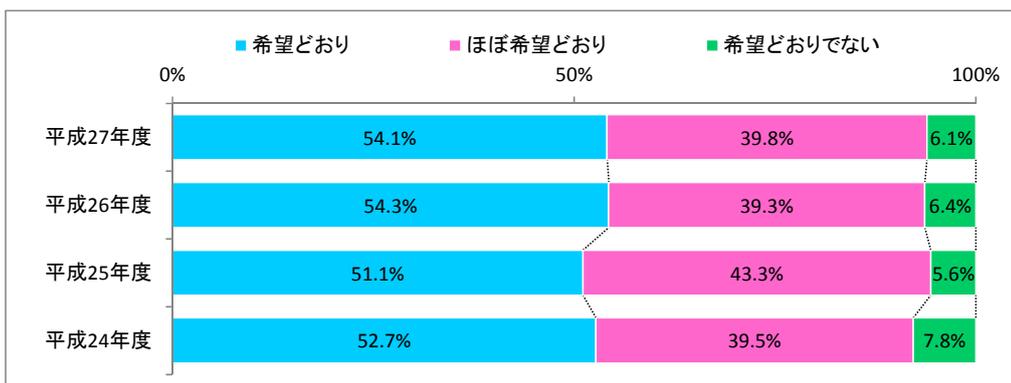


【コメント】

「学校・先生からの紹介」は減少しているが、増加している選択肢が多く、就職先を知るきっかけが多様化していることがうかがわれる。

2. 希望している会社に就職できたか（1つ選択）

全体では「希望どおり」が54.1%、「ほぼ希望どおり」が39.8%で、あわせて93.9%という結果であった。昨年との比較では、「希望どおり」は0.2ポイント減少、「ほぼ希望どおり」は0.5ポイント増加、「希望どおりでない」は0.3ポイント減少した。

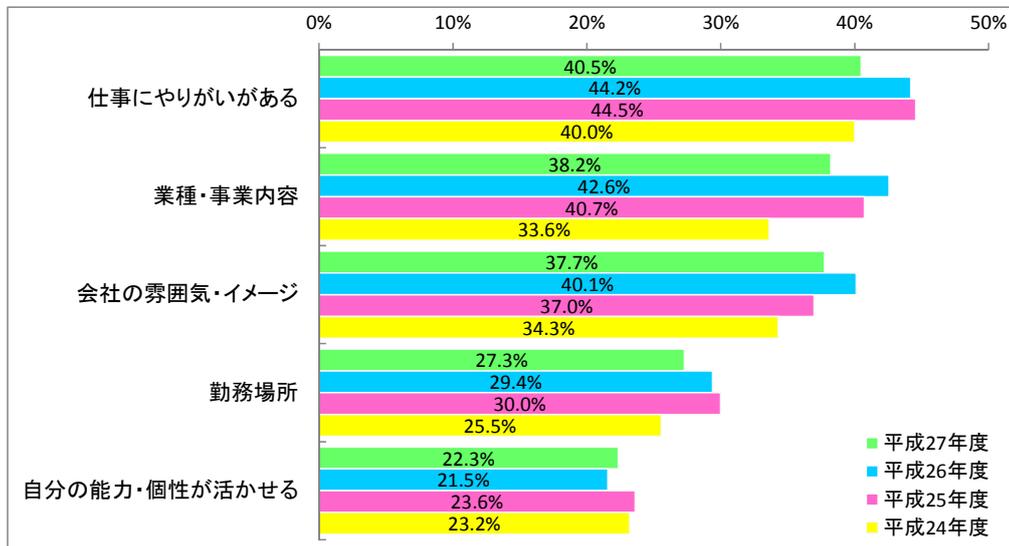


【コメント】

「希望どおり」と「ほぼ希望どおり」の合計は高い水準にあるが、売り手市場のなか、「希望どおり」がわずかながら減少しており、就職先に対する要求も高くなっていることがうかがわれる。

3. 就職先を決める時、重視したもの（3つまで選択）

全体では「仕事にやりがいがある」が40.5%で最も多く、次いで「業種・事業内容」の38.2%、「会社の雰囲気・イメージ」の37.7%という結果であった。昨年との比較では、「会社の安定性」の5.2ポイントの増加、「業種・事業内容」の4.4ポイントの減少が目立っている。

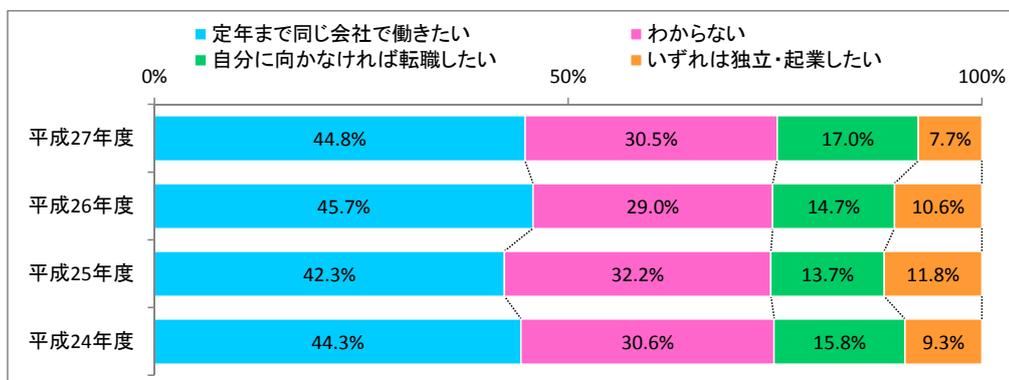


【コメント】

昨年との比較で、「仕事にやりがいがある」、「業種・事業内容」が減少する一方、「会社の安定性」、「福利厚生」、「給与体系」が増加しており、「やりがい」よりも「安定性」などのより現実的な面を重視する傾向がみられる。

4. 就職した会社で定年まで働きたいと思いますか（1つ選択）

全体では「定年まで同じ会社で働きたい」が44.8%で最も多く、次いで「わからない」の30.5%、「自分に向かなければ転職したい」の17.0%、「いずれは独立・起業したい」の7.7%という結果であった。昨年との比較では、「定年まで同じ会社で働きたい」が0.9ポイント減少、「わからない」が1.5ポイント増加、「自分に向かなければ転職したい」が2.3ポイント増加、「いずれは独立・起業したい」が2.9ポイント減少した。

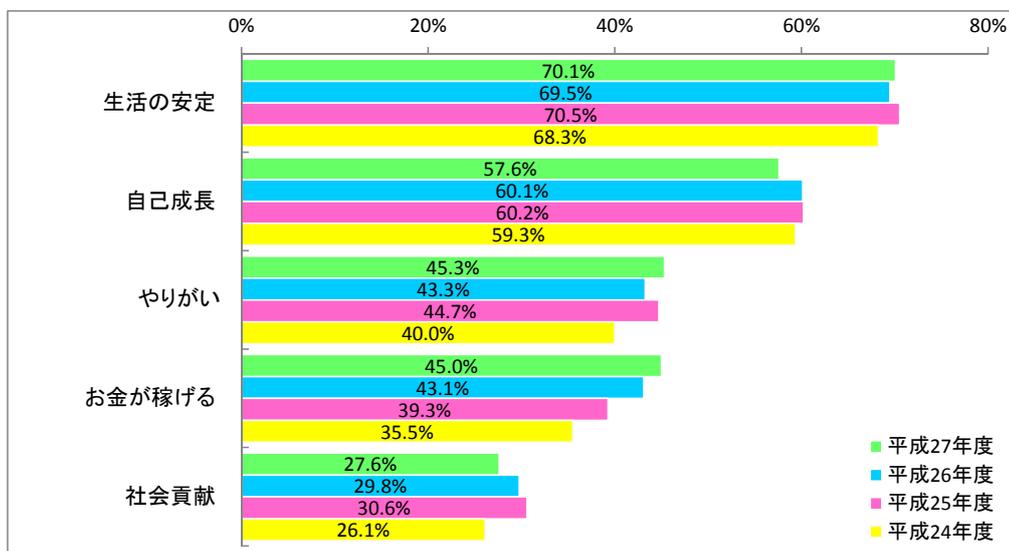


【コメント】

売り手市場を背景に「自分に向かなければ転職したい」との回答は増加したが、安定志向が強いからか「いずれは独立・起業したい」は減少した。

5. あなたにとって働く目的は何ですか（3つまで選択）

全体では「生活の安定」が70.1%で最も多く、次いで「自己成長」の57.6%、「やりがい」の45.3%という結果であった。昨年との比較では、「自己成長」の2.5ポイントの減少が目立っている。

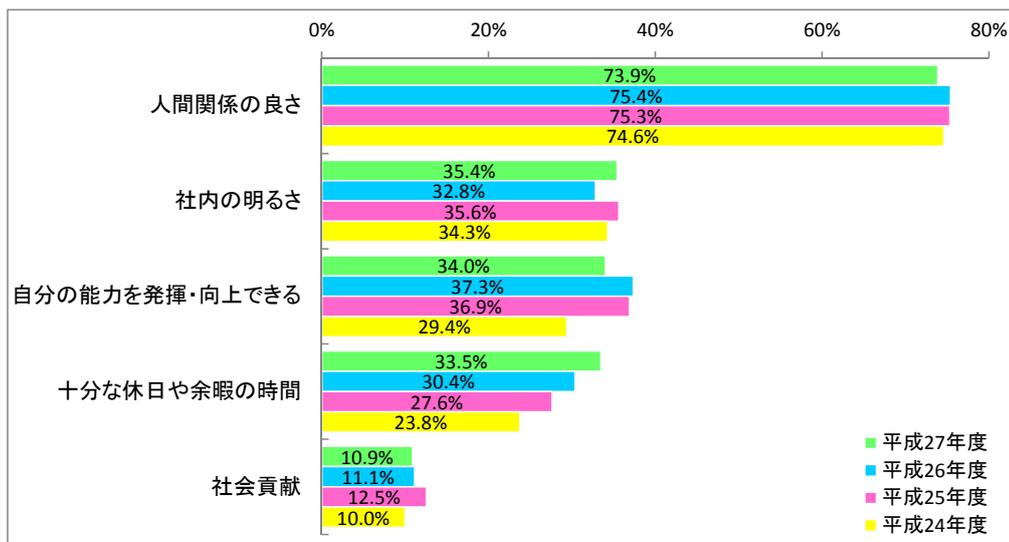


【コメント】

「自己成長」、「社会貢献」が減少する一方、「お金が稼げる」が増加しており、より現実的な面を重視する傾向がうかがわれる。

6. あなたが会社に求めるものは何ですか（2つまで選択）

全体では「人間関係の良さ」が73.9%で最も多く、次いで「社内の明るさ」の35.4%、「自分の能力を發揮・向上できる」の34.0%という結果であった。昨年との比較では、「自分の能力を發揮・向上できる」の3.3ポイントの減少、「十分な休日や余暇の時間」の3.1ポイントの増加が目立っている。

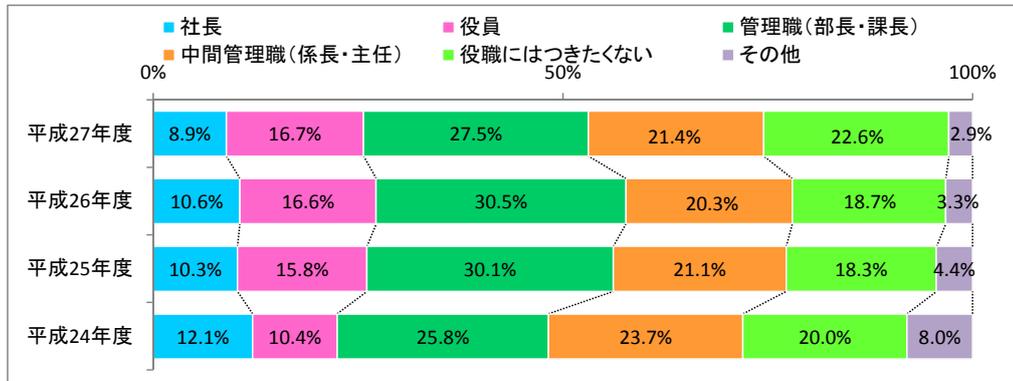


【コメント】

「十分な休日や余暇の時間」が年々増加しており、ワーク・ライフ・バランスを重視する傾向がうかがわれる。

7. 将来、どのポジションに就きたいですか（1つ選択）

全体では「管理職（部長・課長）」が27.5%で最も多く、次いで「役職にはつきたくない」の22.6%、「中間管理職（係長・主任）」の21.4%という結果であった。昨年との比較では、「役職にはつきたくない」の3.9ポイントの増加が目立っている。

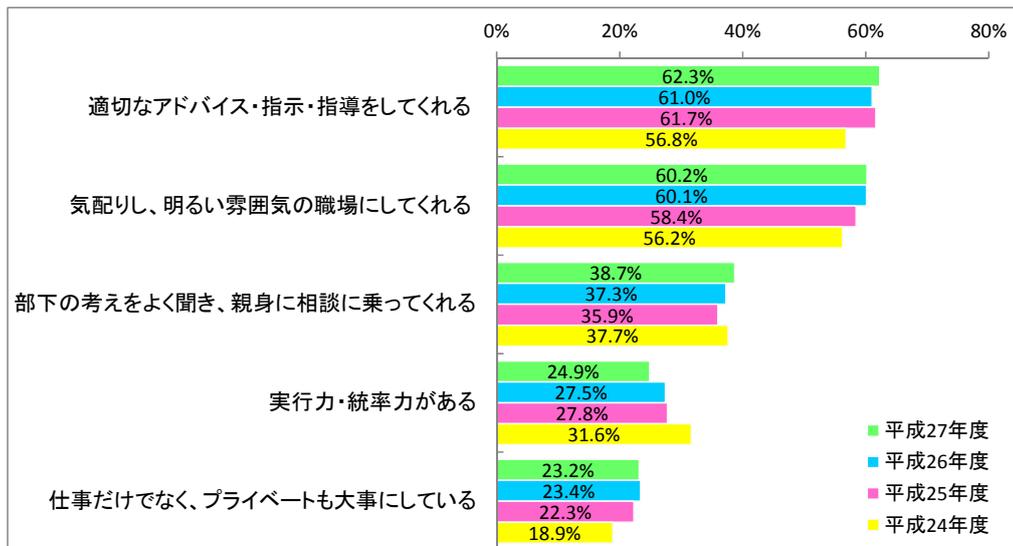


【コメント】

将来のポジションとして管理職以上を希望する割合は、全体では53.1%で、昨年の57.7%を4.6ポイント下回っており、また「役職にはつきたくない」が昨年を3.9ポイント上回っている。部下を持ち管理業務に煩わされたくないとの気持ちがうかがわれる。

8. あなたにとって理想の上司に近いものはどれですか（3つまで選択）

全体では「適切なアドバイス・指示・指導をしてくれる」が62.3%で最も多く、次いで「気配りし、明るい雰囲気職場にしてくれる」の60.2%、「部下の考えをよく聞き、親身に相談に乗ってくれる」の38.7%という結果であった。昨年との比較では、「適切なアドバイス・指示・指導をしてくれる」が1.3ポイント、「部下の考えをよく聞き、親身に相談に乗ってくれる」が1.4ポイント増加した。

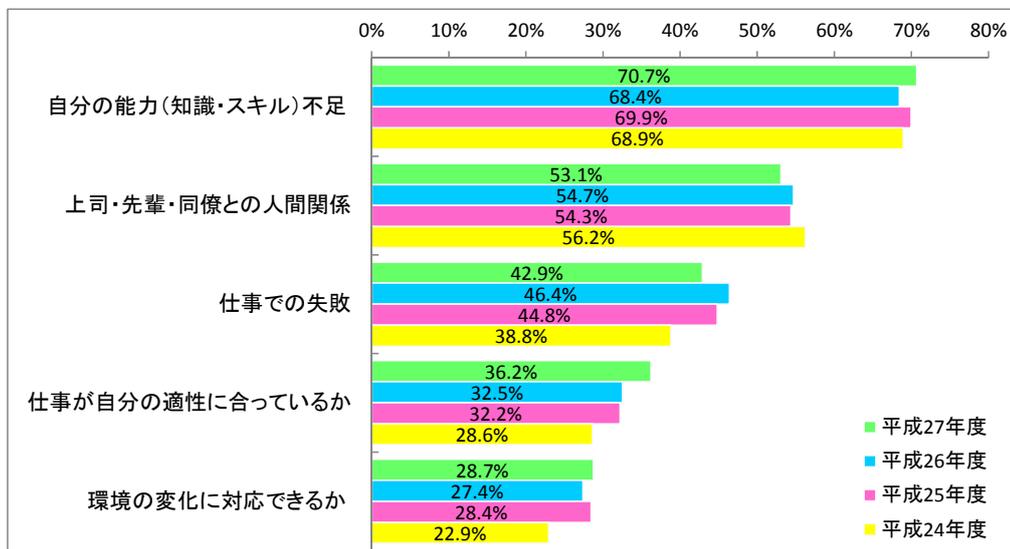


【コメント】

知識やスキル不足、コミュニケーション能力不足を自覚しており、力強く引っ張っていく上司よりも、きめ細やかな指導、気配りのできる上司を求める傾向が続いている。

9. 仕事や生活に対する不安は何ですか（3つまで選択）

全体では、「自分の能力（知識・スキル）不足」が70.7%で最も多く、次いで「上司・先輩・同僚との人間関係」の53.1%、「仕事での失敗」の42.9%という結果であった。昨年との比較では、「仕事が自分の適性に合っているか」の3.7ポイントの増加、「仕事での失敗」の3.5ポイントの減少が目立っている。

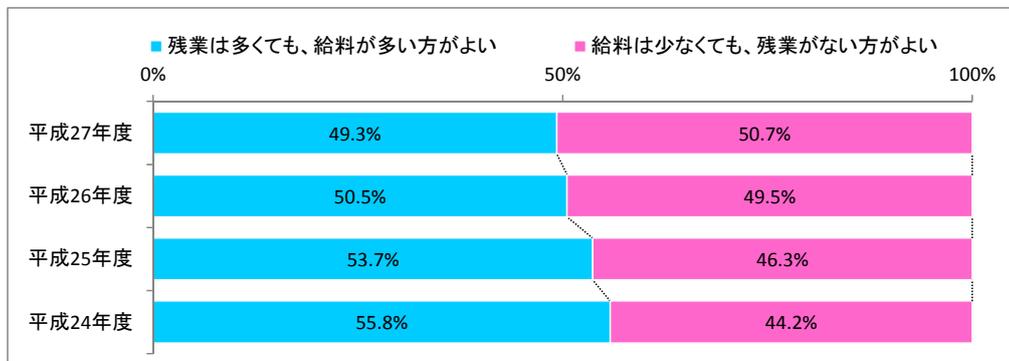


【コメント】

職業人として能力が不十分なことを自覚していることに加え、仕事が自分の適性に合っているかと環境変化への対応が増加しており、社会人としての能力不足の自覚からくる不安が感じられる。

10. 給料と残業に対するあなたの考え方はどちらですか（1つ選択）

全体では「残業は多くても、給料が多い方がよい」が49.3%、「給料は少なくても、残業がない方がよい」が50.7%であった。最終学歴別では専門学校卒、高校卒は「残業は多くても、給料が多い方がよい」がそれぞれ56.2%、63.6%で、大学院卒、大学卒、短大卒は「給料は少なくても、残業がない方がよい」がそれぞれ74.0%、58.8%、51.9%であった。昨年との比較では、「給料は少なくても、残業がない方がよい」が1.2ポイント増加し初めて50.0%を超えた。

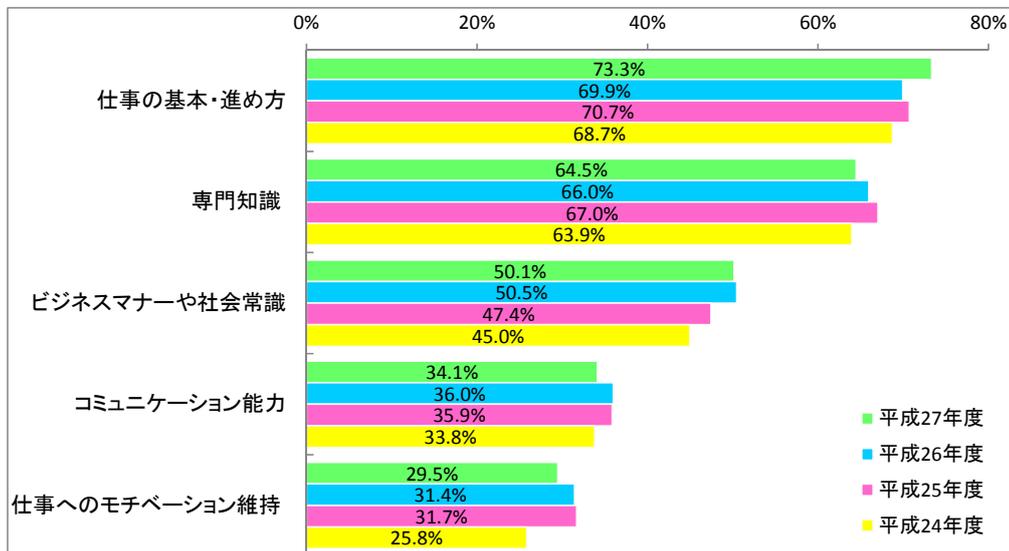


【コメント】

年々「給料は少なくても、残業のない方がよい」が増加しており、ワーク・ライフ・バランスを重視する傾向が顕著である。

11. 入社後、指導・教育してもらいたいことは何ですか（3つまで選択）

全体では「仕事の基本・進め方」が73.3%で最も多く、次いで「専門知識」の64.5%、「ビジネスマナーや社会常識」の50.1%という結果であった。昨年との比較では、「仕事の基本・進め方」の3.4ポイントの増加が目立っている。

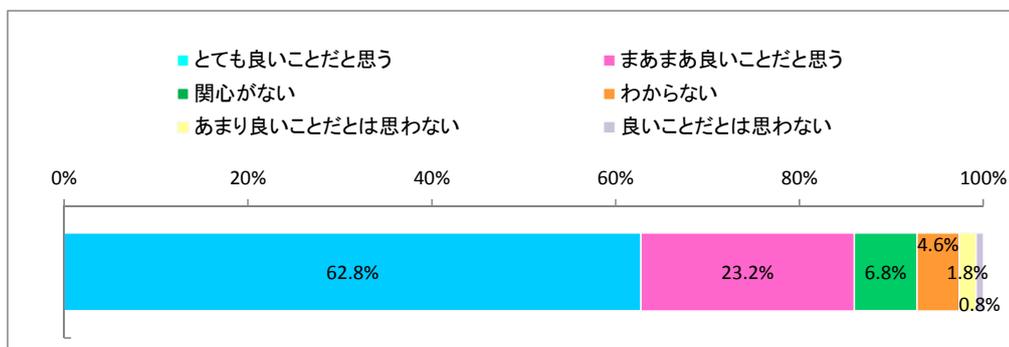


【コメント】

「仕事の基本・進め方」が3.4ポイント増加しており、売り手市場のもと入社したものの、仕事に対する不安がうかがわれる。

12. 「女性活躍推進」がうたわれていますが、女性管理職が増えていくことに対するあなたの考え方はどれですか（1つ選択）

全体では「とても良いことだと思う」が62.8%で最も多く、次いで「まあまあ良いことだと思う」の23.2%、「関心がない」の6.8%という結果であった。最終学歴別では、大学院卒が「とても良いことだと思う」と「まあまあ良いことだと思う」の合計が唯一80%を下回り、66.0%という結果であった。



<最後に>

今回のアンケート結果から、新入社員は自分自身の職業人としての能力が不足していることを十分認識しているとともに、仕事への適性や環境変化への対応に不安を抱いていることが分かります。

一方で会社に求めるものとして、「十分な休日や余暇の時間」との回答が3年連続で増加し33.5%となっています。また、給料と残業に対する考え方では「給料は少なくても、残業がない方がよい」と答えた人が3年連続で増加し50.7%と初めて50.0%を超え、ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）を重視する傾向が強まっていることが見えてきます。

価値観の形成には、育ってきた環境や経験が大きく影響することを理解する必要もあると思います。今年の新入社員は、いわゆる「ゆとり世代」の中心層であり、日本の「失われた20年」の中で育ってきました。

今年の新入社員は例年より「仕事への適性」や「環境変化への対応」に不安を感じています。日々接する際には、新入社員が不安に感じている事柄を十分理解・サポートしながら、仕事や企業理念などを指導していくことが大事ではないでしょうか。

本調査結果が、その一助になれば幸いです。

—ご利用に際して—

- ◇ 本資料は、アンケートに基づき作成しましたが、当社はその正確性を保証するものではありません。
- ◇ 本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一的な見解を示すものではありません。
- ◇ 本資料に基づくお客様の決定、行為、及びその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客様ご自身でご判断くださいますようお願いいたします。
- ◇ 本資料は、著作権法に基づき保護されています。引用する際は、必ず出所：NCB リサーチ&コンサルティングと明記してください。
- ◇ 本資料の全文または一部を転載・複製する際は当社の許諾が必要です。